

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

中国研修旅行

「みらい学」集大成の地において

文理科学科通信3号では中国研修旅行のダイジェストをお届けしました。4号では旅行を終えた生徒達の生の声をお届けします。

(日新中学校出身)

6月16日から6日間、中国への研修旅行に行った。初めての海外旅行でとても緊張していたが楽しみでもあった。中国に着くと周りのすべてのものに驚かされた。北京オリンピック開催間近ということもありビル建設、道路の整備など様々なことが行われていた。北京を代表する場所である天安門広場などに行く、改めて中国に来ているんだなあという実感が湧いた。

今回の研修旅行で困った



(綾部中学校出身)

今回は旅行で一番感じたのは事前学習をしておきたかったということだった。万里の長城や廬溝橋など多量な場所を訪れて素直に感動できた。明の十三陵などすごい場所であるはずなのにいまひとつ感動できなくて悔しかった。

また今回メディアの誤った情報に左右されているのだと現地に行つて分かった。特に大気汚染については、マラソンの選手のコメントが引用されていたが、全然たいしたことにはなかった。むしろ東京や大阪の方が汚れている気がした。オリンピック招致の前に日本もやるべきことがあると思つた。

環境の視点から経済を学ぶ

クールビズ ～ 二酸化炭素排出量取引 まで

「みらい学」における取組の第3弾として、6月14日(土)に神戸大学より講師をお招きし、「環境問題と経済学」という演題で特別講義を実施しました。講師は、神戸大学大学院経済学研究科 准教授 竹内憲司氏でこれまで学んだ「農学」



の主張と相手の意見から学ぶ学習も進めていきます。これからも様々な内容の講義や実習を企画し、生徒達の「知的好奇心」を刺激し、知ることの喜びや達成感を体感するとともに研究テーマを追究する支援を行つていきたいと思ひます。

生徒の感想より

(夜久野中学校出身)

はじめにクールビズやウォームビズから始まりどんな内容が膨らんでいく講習の機会ともなりました。今回の講演で学んだことをもとに、生徒達は夏の宿泊研修で実施する発表会(ポスターセッション形式)に向けて準備を進めています。講演の最後に竹内先生より与えていただいた4つのテーマ、

「ごみ有料化」
「排出量取引」
「ペットボトルのリサイクル」
「環境税」
「環境税」と「反対」

「ごみ有料化」
「排出量取引」
「ペットボトルのリサイクル」
「環境税」
「環境税」と「反対」

から「経済学」にテーマも大きく変わり、理系から文系へとシフトした内容でしたが、洞爺湖サミットでも議題となった環境問題は、私たちを取り巻く身近な話題でした。

事前学習として、本校の社会科教員による「経済学入門」の授業や「自然エネルギー」への転換と各国の取組例」などを学びました。この事前学習の段階から、

それぞれの立場からグループ発表を行い、双方の意見